



宇都宮健児さんの 決意表明

今回の都知事選で問われているもの
都民の生存権がかかった選挙である、都民一人ひとりの雇用を守る、営業を守る、住まいを守る、生活を守る、命を守る

・緊急の3課題

1. 新型コロナウイルス感染症から都民の命を守る医療体制の充実と自粛・休業要請等に対する補償の徹底
 - (1) PCR検査態勢充実
 - (2) 病院や保健所、医療従事者に対する財政支援の強化
 - (3) 病床、人工呼吸器・ECMO（人工肺装置）・マスク・防護服などの医療器具の充実
 - (4) 自粛・休業などにより収入が減少した中小事業者に対する補償、仕事を失ったり収入が減少した非正規労働者、フリーランス、学生などに対する生活補償を徹底して行う。
2. 都立・公社病院の独立行政法人化を中止するとともに、これまで以上に充実強化を図る。
3. カジノ誘致計画は中止する。

・重視する8課題

1. 学校給食の完全無償化～子どもの貧困をなくす。
2. 東京都立大学の授業料を当面半額化し無償化をめざす～誰もが学べる東京を実現する。
3. 都営住宅の新規建設、家賃補助制度・公的保証人制度の導入、原発事故避難者に対する住宅支援～住まいの貧困をなくす。
4. 公契約条例の制定、非正規労働者を減らし正規労働者を増やす～働く者の貧困をなくす。
5. 災害対策（防災、減災、避難者対策など）を強化する～自然災害から都民の命と財産を守る。
6. 道路政策（外環道、特定整備路線、優先整備路線）を見直す～地域住民の意見に耳を傾ける。
7. 羽田空港新ルート低空飛行の実施に反対する～都民の命と暮らしを守る。
8. 温暖化対策（CO₂の排出削減、自然再生エネルギーの充実など）を抜本的に強化するとともに緑と都市農業を守る～地域環境、自然環境を守る。

宇都宮健児勝利で

憲法、いのち、くらしを守る都政実現へ！

全都の総決起を心より訴えます

2020年6月10日 革新都政をつくる会事務局長 中山伸

未曾有のコロナ禍のもと、都民のいのち、くらし、仕事、最大の危機の中でたまたま日投票で都知事選挙をたまたまかれます。小池知事は、予定通りの東京五輪開催に固執し、初動を誤り、全面的PCR検査を拒み続け、爆発的感染を招き、段階的緩和の行程も不明瞭です。同時に、貧困と格差を拡大してきた右原知事以来の自民党型都政を継承している小池都政のいのち、くらし、福祉に冷たい実態が露呈していまは、都政を変えたいと願う多くのみなさんに確信と希望をあたたかました。この希望を守る都政にどうしても変えなければなりません。を広く都民に直ちに広げましょう。

宇都宮さん勝利で、小池都政を必ず転換しましょう。パンフと「黒書」で小池都政の実像をつかみ、全都の市民と野党の共闘が、各地域に共闘体制をつくり、宣伝・対話に総決起しをしましょう。

今次都知事選挙は、新型コロナウイルス危機による

宣伝行動に「パンフ」「プラスター」の活用を

都政パンフ
市民と野党の共闘で小池都政の転換をめざす
2020年都知事選挙
私たちの提案

東京都知事選挙（7月5日投票）が目前に迫りました。革新都政をつくる会は「市民と野党の共闘」を実現し、都政を転換するために都政パンフを作成しました。主な内容：①小池都政の分析・評価、②市民と野党の共闘の呼びかけ、③貧困と格差、自然災害、地球温暖化などの課題、くらしや福祉などの都民の切実な都民要求に応える提案

■特版40頁 ■頒価：300円
革新都政をつくる会 TEL 03-5978-4031
e-mail: info@kakushintosei.org

革新都政をつくる会は、都知事選挙の政策学習・宣伝活動に活用するために、パンフレット「2020年都知事選挙 私たちの提案」（40ページ冊子・300円）を作成し普及しています。また、宣伝用プラスター（7種類）も作成しました。積極的活用をお願いします。問い合わせは革新都政の会事務所まで（03-5978-4031）まで。

市民と野党の共闘で 小池都政の転換を

—6・3呼びかけ人会議



6月3日、「7・5都知事選挙 変えよう東京『市民と野党の共闘実現で都政の転換をめざす』6・3呼びかけ人会議」を開催し、野党各党が出席、市民と野党の共闘にむけた表明がおこなわれるとともに、宇都宮健児さんが登壇、決意を表明しました。



呼びかけ人会議「日本教育会館一ツ橋ホールにおいて、新型コロナウイルスの感染予防対応のもと100名定員で開催され、野党各党が出席、市民と野党の共闘にむけた表明がおこなわれるとともに、宇都宮健児さんが登壇、決意を表明しました。是非、野党共闘でたたかいたい」と発言しました。

困っている人を見すてない
貧困と格差のない東京を

防災
地球環境
持続可能な東京を

憲法を
まもる
都民が主人公の都政を

もっと
保育園を
安心して子育てできる東京を

約束を守る
知事を守る
「自粛」と
一体の
補償を

都民の命を守る
都立・公社病院の
独法化お断り

会議は、呼びかけ人代表の浜田子さんから寄せられたメッセージ「この暗黒の政治状況が切り裂かれること、闇の帳とほりの向こう側にある光の世界に到達できることを確信しております」が代読され、五十嵐仁呼びかけ人代表が「東京が変われば日本が変わる野党共闘体制をつくり挑んでいきたい」と挨拶をおこないました。

野党からは立憲民主党の長妻昭東京都連代表から「コロナ禍で新自由主義の脆弱性が明らかになってきたことへの指摘があり、「格差と貧困とたたかってきた宇都宮さんを応援したい」、国民民主党岸本周平選挙対策委員長は「高知、静岡と共同でやってきた都知事選は東京都連で詰めていきたい」、日本共産党小池晃書記局長は「宇都宮さんを支援する。できるだけ幅広い市民と野党で共闘体制をつくりあげ、宇都宮知事実現のため全力をつくそう」、社民党の吉田忠智幹事長は「宇都宮さんの決意表明、社民党も共感している。全力でたたかいていく決意を表明する」、新社会党の岡崎ひろみ中央執行委員長は「小池都政は問題があった歴史と変わらない。宇都宮さんと一緒に取り組めることほうれしい」、緑の党の漢人あきこ都本部共同代表は「2日の臨時都本部会議で宇都宮さん支持を確認した。是非、野党共闘でたたかいたい」と発言しました。

その後、小林節呼びかけ人（慶応大学名誉教授）が、「今回の選挙は人格のたたかいだ」、岩井佑樹呼びかけ人（青年労働者）から「新型コロナウイルスで青年は大変。都政を変えたい」の訴えがありました。

宇都宮さんは「毎回の議案を傍聴してきた。コロナ禍のもとで都民一人ひとりの生存権がかかった選挙。保守・無党派の人々との共同もすすめて、知事選をたたかいてこよう」「各党のみならず、大変心強い」と決意を表明しました。

最後に永山和呼びかけ人代表が選挙に向けた決起を訴えました。